**令和２年度　税務重点目標（結果報告）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **１　適正かつ公平な課税及び徴収の徹底**  税収確保の推進に関し、令和２年度を目標年度として掲げてきた、「府が自ら徴収する税目」（個人府民税（均等割・所得割）及び地方消費税を除く。）について全国上位３分の１の団体が達成（全国15位）している徴収率を達成することを引き続きめざす（目標年度は定めない。）  本年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、納税者等の状況に十分配慮し、適正かつ公平な課税及び徴収を徹底する。  ■結果（令和３年度５月末時点）   |  | | --- | | 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、納税者等の状況に十分配慮し、適正かつ公平な課税及び徴収を徹底した。  ◆「府が自ら徴収する税目」徴収率  ・98.41％（前年度：99.44％（▲1.03pt））  ※特例の徴収猶予中のもの  ・5,770百万円  ⇒当該猶予中のものを除いたベースの徴収率  ・99.31％（前年度：99.44％（▲0.13pt）） |   **２　人材の育成**  専門的な知識・経験を有する職員が減少していく中、税務組織の核となる人材の育成をめざすとともに、初任者に対しては早期に業務遂行能力の習得を図るなど、ベテラン職員の知識・経験・ノウハウの継承を意識し、積極的に人材の育成をめざす。  このため、税務局と府税事務所及び大阪自動車税事務所が連携し、体系的かつ効果的な研修のほか、職場におけるＯＪＴや自己学習を促進するための学習支援環境を充実させるとともに、実務経験を通じ、職員の意欲と知識・能力の向上を図る。  ■結果（令和３年度５月末時点）   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 税務職員に求められる高い専門性を有する人材を育成するため、以下のとおり部局研修を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、基礎研修（前期）他（10回）については各事務所において実施した。  【令和２年度実績】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 分類 | 実施回数 | 時間数 | 参加人数 | | 階層別 | 5回 | 21.08H | 114人 | | 税目別 | 19回 | 103.00H | 220人 | | その他 | 5回 | 3.00H | 220人 | | 合計 | 29回 | 127.08H | 554人 |     また、部局研修と各所属におけるＯＪＴとがスムーズに連携できるよう研修資料及び研修受講結果を速やかに各所属にフィードバックし、職員の達成度合いに応じた職場での効果的なＯＪＴの実践につなげた。さらに、税務職員学習支援ポータルサイトを通じて、税務職員に役立つ資料や情報を提供し、自主学習を支援した。  各所属におけるＯＪＴの実践状況や各所属及び新規採用職員等との意見交換等を踏まえ、引  き続き効果的なＯＪＴとの連携を目指すとともに、自主学習の環境整備等に努める。 | |